



庄司 一洋



ハード部門 地域住民等交流施設整備事業

# 体操で集うコミュニケーション作り



## 目的

各地域には住民に寄りそう居場所が必要である。地域には市が設置した地区センターなどの場が設置されているものの、事前予約の必要性、使用目的など、気楽に立ちよっていく施設ではない。そこで、もっと住民に身近な居場所として、**自宅を改装した地域住民の居場所を設置し、細やかなネットワークの構築を図っていく。**

- ★ 定期的に整体・体操を行う
- ★ 健康マージャンや茶話会などを開催

「**地域のカフェ**」となるよう、集いの場でのネットワークを活かして地域のボランティア活動（公園の草刈り・神社清掃・読み聞かせなど）の拠点としていきたい。

## 期待される効果

★ 地区センター、公会堂とは異なる地域の居場所の設置により、近隣に居住する高齢者が気軽に自分で移動して社会参画する拠点を整備

**人が集まることにより、コミュニケーションの推進が図られ、地域の情報を共有し賑やかに楽しく過ごすことのできる地域を創出していく。**

**自治会組織と連携した事業展開が可能（現自治会長）**

## 事業内容

### 住み開き

自宅の1階を開放し、さまざまな人が集う居場所として地域住民と共有

before



6畳和室、10畳居間、廊下

after



21畳のフリースペースへ



沼津市原



## 現在の活動状況

健康体操教室開催  
(センテナリアンクラブ)



土曜日 14:00 ~  
 月曜日 13:00 ~  
 金曜日 19:00 ~

7/16 静岡新聞掲載！  
落語 / 麵時亭うどん師匠



## 成果と検討課題

当初計画より拠点のスペースを広く確保することができた（16畳→21畳）ことにより、活用方法の幅が広がったものと考えている。今後は、多くの方に活用していただくために、イベント内容、周知方法を検討し友好的な活用を進めていきたい。

高齢者を主体とした体操教室、健康マージャン等の拠点として運営を行っていく予定であり、将来的には、地域の小学校低学年の児童が集える場所、原駅前の利便性を生かした観光ボランティア等の活用拠点など、幅広い活用の方法を検討している。